

もしあなたが、被災してしまったら…。

被災した方々は、「こんな経験は初めて」、「まさかこんなことになるとは思ってもいなかった」と言います。近年の異常気象では、同様の災害がどこで発生してもおかしくない状況となっています。だからこそ、「命を守る術」、「日常生活を取り戻す術」を知っておく必要があります。

ギモン
①

復旧作業で困りごとが…。どこへ連絡したらいいの？

地区の区長や民生委員、自主防災組織等へご相談を！

「被害に遭った家財道具を片付けたいが自分だけでは無理」「被害状況を見に来てほしい」など、困ったことがあれば、まずは相談するようにしてください。

ギモン
②

まず何から手を付けていいのかわからない!?

STEP①

ゴミ搬出



STEP②

泥出し／清掃



STEP③

消毒作業



復旧作業をする前に被災状況の写真を！

大規模な災害の場合、被災状況の度合いによって受給できる支援制度が異なります。復旧作業に入る前に被災状況を必ず撮影しておきましょう。

撮影のポイント

①建物の四方向から！ ②浸水の深さが分かるように！



ギモン
③

災害ゴミなら何でも出していいの？

いいえ！決められた分別・排出ルールがあります！

- ☑ 災害とは関係のない不要なものまで捨てない！
- ☑ 災害ゴミの搬出作業は、災害ゴミ受入期間中に完了を！
- ☑ 災害ゴミを搬出する際は、分別して仮置き場へ！

※災害ゴミの例：畳・絨毯・布団・木製家具など



近年全国各地で豪雨災害が発生しています。本格的な台風シーズンを迎える前に、今一度、風水害への備えを見直すとともに、万が一、被災してしまった場合の対応についても事前に把握しておきましょう。

今回は、昨年、志和地区を中心に大きな水害をもたらした実例をもとに考えてみましょう。

特集

昨年の豪雨災害から学ぶ。

台風や線状降水帯による大雨は、ある程度、事前に予測することができま。

豪雨災害から命を守るためには、「①事前の備え」「②最新情報の入手」「③速やかな避難」が鉄則となります。

① 自宅周辺の危険箇所を確認しよう！

防災ハザードマップ等で土砂災害の危険区域や浸水想定区域などを確認し、避難経路の危険性も確認しておきましょう。

② 最新の情報を使い慣れたツールで取得しよう！

テレビやインターネット、アプリなどの様々な情報ツールの中から、自分に合った使い易いものを見つけてください。

最新の防災情報を収集することで、身に迫る危険を事前に予測し、素早い避難行動へと繋げましょう。

情報発信中！



高知防災



四万十町公式LINE

③ 避難情報をよく理解し、迅速な避難を！

次ページに掲載の5段階警戒レベルを参考に避難のタイミングをしっかりと理解し、災害の危険性がある場合はレベル4までに必ず避難を完了しましょう。

被害状況

昨年9月17日に福岡県に上陸した台風14号。高知県内でも停滞前線の活動が活発となり、17日明け方から局地的に猛烈な雨が降りました。窪川観測所では、6時間降水量が観測史上最大となる302ミリを観測。

その結果、町内では土砂災害や浸水被害が発生し、一部地域では断水が生じるなど、各地に大きな被害をもたらしました。

中でも被害が大きかった志和地区では、山から流れてきた大量の土砂が谷川や水路に流れ込み、床上浸水5件、床下浸水31件という大きな浸水被害が発生しました。



農地へ流れ込んだ大量の土砂



水路を埋めつくした土砂



洗浄して乾かす雨戸

5段階警戒レベル

